

医療情報システム用クライアントパソコン等

賃貸借仕様書

宮城県立がんセンター

1 概要

本仕様書は、宮城県立がんセンター医療情報システムを構成するクライアント用パソコン、プリンター及び周辺機器の賃貸借並びにこれらの保守業務及び賃貸借契約満了後の機器の撤去等に関して定めるものである。

2 履行・納入場所

宮城県立がんセンター（名取市愛島字野田山47-1）

3 納期

令和4年2月13日

4 賃貸借期間及び保守期間

令和4年2月13日から令和9年2月12日まで

5 賃貸借物品の規格・数量

機器の機能については別紙「賃貸借物品詳細仕様書」のとおり

番号	品目	台数
【機器等】		
(1)	デスクトップ型パソコン	434台
(2)	読影用デスクトップ型パソコン	5台
(3)	顕微鏡用デスクトップ型パソコン	1台
(4)	麻酔記録デスクトップ型パソコン(KBC付)	9台
(5)	デスクトップ型パソコン用モニター(21.5型)	446台
(6)	デスクトップ型パソコン用モニター(TP付)	7台
(7)	デスクトップ型パソコン用モニター(24.1型)	10台
(8)	ノート型パソコン	134台
(9)	タブレット端末(電カル用)	25台
(10)	タブレット端末(ME用)	2台
(11)	携帯端末	75台
(12)	携帯端末・タブレット端末制御用パソコン	1台
(13)	デスクトップ型パソコン用モニター(55型液晶モニター) スタンド付 ※手術室、麻酔科控室用	6台
(14)	高精細モニター(2M)	125台
(15)	高精細モニター(3M)	10台
(16)	高精細モニター(12M)	4台
(17)	レーザープリンター(A4モノクロ) ※うち増設トレイ 57台	150台

(18)	レーザープリンター (A3 モノクロ) ※うち増設トレイ 10 台	12 台
(19)	レーザープリンター (A3 モノクロ、フィニッシャー付) ※レセプト用	1 台
(20)	レーザープリンター (A4 カラー) ※うち増設トレイ 8 台	37 台
(21)	レーザープリンター (A3 カラー) ※うち増設トレイ 2 台	2 台
(22)	緩和ケア用レーザープリンター (A3 カラー)	1 台
(23)	薬袋印刷機	2 台
(24)	ディスクディプリケーター	3 台
(25)	スライドガラスプリンター	2 台
(26)	カセットプリンター	1 台
(27)	食札裁断機	1 台
(28)	検体ラベルプリンター	28 台
(29)	リストバンド用ラベルプリンター	2 台
(30)	輸血用ラベルプリンター	1 台
(31)	物流・中材・ME 用ラベルプリンター	8 台
(32)	スキャナー (A4 カラー)	32 台
(33)	ペンタブレット	7 台
(34)	有線 1 次元バーコードリーダー	253 台
(35)	無線 1 次元バーコードリーダー ※HCU 用	8 台
(36)	無線 2 次元バーコードリーダー ※放射線部門用	30 台
(37)	無線 2 次元バーコードリーダー ※検査部門用 13 台、病理部門用 13 台	26 台
(38)	有線 2 次元バーコードリーダー ※物流部門用	80 台
(39)	無線 2 次元バーコードリーダー ※物流部門用	20 台
(40)	ハンディターミナル	20 台
(41)	ビーコンタグ	300 個
【ソフトウェア等】		
(42)	Office Standard2019 GOLP	455 式

(43)	Office ProPlus2019 GOLP	94式
(44)	FileMaker19 永続ユーザ+1年保守 T5	150式
(45)	JL-GOV ATOK Mediacal2 Win AAA 優待	452式
(46)	JL-GOV ATOK Mediacal2 Win 新規	142式
(47)	ATOK Mediacal2 Win インストールメディア	1式
(48)	JL-GOV 医学辞書 2021forATOK VUP	454式
(49)	JL-GOV 医学辞書 2021firATOK 新規	140式
(50)	医学辞書 2021forATOK インストールメディア	1式
(51)	Array AOC7	3式

6 医療情報システム導入業者との調整

本調達に係る機器は、下記業者（以下、「システム導入業者」という。）が導入した医療情報システムに使用するものであることから、機器の納入等については、発注者の指示によりシステム導入業者とも調整し、システム導入業者によるシステム導入が円滑に行えること。

システム導入業者：富士通 J a p a n 株式会社 宮城支社

（所在地 仙台市青葉区中央3-2-23 野村不動産仙台青葉通ビル）

7 納入条件等

(1) 基本要件

イ 発注者の医療情報システム(富士通製電子カルテシステム HOPE EGMAIN-GX 等 下記(2)に示す対象システム)が問題なく動作する性能・実績等を有し、動作保証があるもの。

ロ 「5 賃貸借物品の規格・数量」に記載の台数を準備すること。

ハ デスクトップ型及びノート型パソコン（以下、クライアントパソコンという。）は、医療情報システムや部門システムが複数相乗りでの使用が可能であること。

ニ ノート型パソコンは、無線及び有線での利用を選択できること。

(2) 対象システム

対象システムは別紙「対象システム一覧」のとおり

(3) 初期設定等

イ OS等の初期セットアップが完了していること。

ロ 識別コード（クライアント名称）、固定TCP/IP及びプロキシサーバー等のTCP/IPが設定され、イーサネットに接続するだけで院内ネットワークが利用できる状況であること。また、クライアントのユーザ権限が宮城県の指定するレベルに準じて制限されていること（制限レベルは契約締結後に打ち合わせす

- る)。なお、現在のTCP/IP等は契約締結後に発注者が提示する。
- ハ クライアントパソコンのセキュリティーは、発注者が示すセキュリティー・ポリシーに従い設定すること。なお、セキュリティー・ポリシーは、契約締結後に発注者が提示する。
- 二 論理パーティション設定については、導入時に発注者及びシステム導入業者と協議すること。
- ホ 今回納入するプリンターは、ドライバー及びTCP/IPポートが設定されており、イーサネット接続するだけでネットワークプリンターとして利用できること。
- ヘ A4モノクロプリンターについては、給紙トレイごとにドライバーを設定し、指定した用紙が同一サイズであっても用途に応じて用紙を選択し印刷できること。
- ト ノート型パソコンについては原則として無線LANを使用するため、現在のワイヤレス環境及びアクセスポイント設置場所を把握し、発注者が示すセキュリティー・ポリシーに従いSSID、パスワード等の設定をすること。なお、セキュリティー・ポリシーは、契約締結後に発注者が提示する。
- チ クライアントパソコンについては、医療情報システムのインストール及びデータベースサーバーとの接続・設定を行い、動作確認を行うこと。なお、インストール・設定するシステムは別紙「対象システム一覧」のとおりとする。設定の詳細については契約締結後、発注者が提示する。
- リ Windows標準の不要なアプリケーションは発注者と協議の上、削除すること。

(4) 機器の納入と設置

- イ 機器の設置場所は、契約締結後、発注者が提示する院内場所へ設置すること。
- ロ 納入の日程については、発注者及びシステム導入業者と調整の上、病院診療業務の妨げとならないよう十分に配慮すること。
- ハ 導入作業中に発生した障害に対しては速やかに対応し、導入作業全体に遅滞が発生しないようにすること。
- 二 原則、全ての賃貸借物品に、落札者名及び識別コード（ユーザー名称等）を記載したシールを確認しやすい位置に貼付すること。
- ホ 端末の設置について、発注者の指定したコンピューター名、固定TCP/IP及びプロキシサーバー等のTCP/IPを設定すること。
- ヘ 設置上必要となる電源配線、ネットワーク等配線部材は既存のものを利用すること。
- ト 梱包材等は落札者の責任で処分すること。
- チ 現在配置されている端末は、発注者が指定した院内の場所へ移動すること。
- リ 原則、端末等の開梱及び設定作業場所は院外で行い、作業場所は落札者が確保

すること。

(5) 動作確認

イ 導入されているすべての医療情報システム(電子カルテシステム等)の動作確認及び各部門システムと連携テストを行うこと。

ロ 今回納入した全ての医療情報システム端末及び周辺機器について動作確認を行うこと。

8 導入計画

(1) 落札者は契約締結後、全ての賃借物品について、納入条件等を満たすよう確実に納品するための導入計画書を、発注者及びシステム導入業者と協議の上作成し、提出すること。

(2) 導入計画書には、以下の内容を明記すること。

イ 落札から納品までの作業内容及び日程

ロ 発注者に要望すべき作業項目、作業工数及び開始時期と期間

ハ その他、上記以外の項目であっても、導入にあたり特に注意を有する事項がある場合は、必ず明記すること。

9 検収

賃貸借物品の搬入据付調整後に、発注者及びシステム導入業者立会いの下、検査を実施し、合格をもって検収とする。

10 保守

(1) 賃貸借物品の保守期間は令和4年2月13日から令和9年2月12日までの5年間とし、賃貸借物品の性能・機能を保持するよう必要の都度点検を実施し、その機能の保全を図ること。

保守及び修理等は、下記業者(以下、「システム保守業者」という。)が行っているため、発注者の指示によりシステム保守業者とも調整を行うこと。

システム保守業者：富士通 J a p a n 株式会社 宮城支社

(所在地 仙台市青葉区中央3-2-23 野村不動産仙台青葉通ビル)

(2) デスクトップパソコン及びノートパソコンに障害が発生し、発注者又はシステム保守業者から障害回復の要請を受けた場合は、連絡を受けた翌日(土日祝祭日は除く。)までに現地に赴き、修復を行うこと。

(3) 落札者は(2)に関して、講じた対策、修理所見等をその都度報告し、確認を受けること。

(4) デスクトップパソコン及びノートパソコンの保守については、発注者の重大

な過失による故障を除き、すべて保守の対象とし、これに係る費用は全て契約金額に含むものとする。ただし、以下の事項は除外とする。

- イ 保守対象機器の改造
 - ロ 発注者の責めに帰すべき事由による故障の修理
 - ハ 天災、事変、疫病、その他不可抗力、両者いずれの責めにしがたい事由による故障の修理
- (5) 保守業務の一部再委託の特例
- イ 落札者が周辺機器のメーカー等に保守業務を一部再委託することを認めるが、その場合、次の書面を提出すること。
 - ロ 落札者と落札者が保守業務の一部再委託を依頼する業者間の再委託契約書又は再委託関係を証明する書面の写し
 - ハ 落札者が保守業務の一部再委託を依頼する業者の法人名、住所、電話番号及び担当部門等の連絡先を記載した書面

1.1 納入機器の撤去

落札者は、契約期間満了後、返却又は再賃貸借の契約を行うものとする。

返却の際、回収・解体・廃棄及びデータの削除に係る全ての費用は、契約金額に含むものとする。

なお、データの消去方法は物理的な破壊又は米国家安全保障局（NSA）推奨方式以上のセキュリティーレベルでのデータの削除とすること。

1.2 機密保持

- (1) 落札者は、いかなる場合においても、本契約の履行中に知り得た情報（業務に関わる事項及び付随する事項）に関して、第三者に開示又は漏洩しないこと。
また、そのために必要な措置を講ずること。
なお、契約期間終了後に関係する情報は全て廃棄すること。
- (2) 落札者は、本契約に携わる全ての作業員に対して、次に記載するポリシーを理解及び遵守させ、行動するように管理すること。
- (3) 作業中に知り得た医療情報システム等に係るセキュリティー情報（システム設定、ネットワーク設定、利用者情報等に関するもののデータ及び印刷情報、口頭伝達情報を含む。）については、機密事項とする。
- (4) 先に記載のセキュリティー情報を不正に使用することを禁じる。
- (5) 作業中に知り得たプライバシー情報（職員に関するもののデータ及び印刷情報、口頭伝達情報を含む。）については、守秘事項とする。
- (6) 特別に許可した場合を除き、本作業にて知りうる全情報を指定する作業場所以外に持ち出すことを禁じる。

(7) (1), (2) は, 本契約が終了した後も, 有効とする。

13 その他

本仕様書に定めのない事項については, 発注者と協議の上決定するものとする。

別紙 対象システム一覧

- ・ 富士通 Japan 株式会社製 電子カルテシステム(HOPE EGMAIN GX V9)
- ・ 富士通 Japan 株式会社製 手術管理システム(HOPE LEPIOS-GX)
- ・ 富士通 Japan 株式会社製 デジカメ画像取り込み(PORT ライブラリ V1)
- ・ 富士通 Japan 株式会社製 看護勤務システム(ナーススケジューラーV7)
- ・ 富士通 Japan 株式会社製 携帯端末システム(HOPE PocketChart V4)
- ・ 富士通 Japan 株式会社製 文書管理システム(HOPE Medoc V4)
- ・ 富士通 Japan 株式会社製 治験管理システム(HOPE NMGCP V6)
- ・ 富士通 Japan 株式会社製 地域医療連携(HumanBridge EHR ソリューション V8)
- ・ 富士通 Japan 株式会社製 診療DWH(HOPE EGMAIN GX V9)
- ・ 富士フイルムメディカル株式会社製 麻酔管理システム(Prescient OR)
- ・ 株式会社ファインデックス製 診断書作成システム(DocuMaker)
- ・ 富士通 Japan 株式会社製 医事会計システム(HOPE X-W V11)
- ・ 富士通 Japan 株式会社製 レセプト総括・債権管理システム(HOPE 債権管理 V2)
- ・ 富士通 Japan 株式会社製 医事DWH(HOPE X-W V11)
- ・ 富士通 Japan 株式会社製 POSレジシステム(TeamPos 7000)
- ・ グローリー株式会社製 自動精算機システム(FFH-700F-S-H)
- ・ 株式会社ドットウエルビー・エム・エス製 診察券発行機(DP-3000A)
- ・ PFU社製 再来受付システム(MEDIASTAFF TM2 モデル(再受セット 15PSS))
- ・ 富士フイルムメディカル株式会社製 放射線診断システム・治療システム・検像システム・
画像管理サーバシステム・統合診療支援プラットフォーム・被ばく線量管理システム
- ・ アミン株式会社製 3次元画像処理システム(ザイオステーション 2 Ver.2.9)
- ・ 日本光電工業株式会社製 生理検査システム(PRM-4000 Ver09-04)
- ・ オリンパス株式会社製 内視鏡部門・レポートシステム(SolemioQUEV Ver3.0)
- ・ トーショー株式会社製 処方支援システム(Sphere Ver8.0)
- ・ 株式会社ユヤマ製 注射支援システム(YUNICOM-GX)
- ・ インフォコム株式会社製 医薬品情報システム(PICS WEB/DICS V5.0)
- ・ インフォコム株式会社製 服薬指導システム(PICS WEB/DICS V5.0)
- ・ A&T株式会社製 検体検査システム(CLINILAN GL-3)
- ・ A&T株式会社製 細菌検査システム(CLINILAN MB3)
- ・ A&T株式会社製 輸血システム(CLINILAN BT3)
- ・ フィンガルリンク株式会社製 病理検査システム(PATH Dimension Ver3.0)
- ・ セーフマスター株式会社製 チーム医療システム(感染管理システム)
- ・ 大和電設工業株式会社製 栄養管理システム(Nutrimate)
- ・ サン・システム株式会社製 物流管理システム(MedicalStream 物流管理 Ver3.0)
- ・ サン・システム株式会社製 ME機器管理システム(MedicalStream 機器管理)
- ・ ライズシステム株式会社製 診療情報管理システム(マーキュリー)
- ・ 株式会社ソフテック社製 院内グループウェアシステム(MyWeb Medical 4)